

西脇北バイパス全線開通 で期待される効果

①交通渋滞の緩和



国道175号は交通量が多く、上戸田南交差点では朝夕の通勤時間帯に最大590車の渋滞が発生しています。開通により交通混雑が緩和され、道路交通の安全性の向上が期待されます。

②命と暮らしを守る生命線



西脇病院をはじめ、国道175号沿線の医療拠点へのアクセスが向上。救急搬送の時間短縮に加え、災害時における救援物資の迅速な輸送にも役立ち、「命をつなぐ道」としての役割が期待されます。

③交流や地域経済の活性化



人や物の往来が増えることで、さまざまな交流が広がり、地域への人の呼び込みや企業進出によるにぎわいの創出が期待されます。また、産業の振興や地域の活性化にもつながると見込まれます。



長年の思いが実現 西脇の未来をつなぐ道路



国道175号西脇北バイパスが
6月13日(土)午後4時に全線開通します

▶問合せ 国県事業推進室(市役所内線 2084)

| 事業の経緯 | |
|----------|--------------------------|
| 昭和60年度 | 調査(交通量調査、ルート案の検討、設計測量など) |
| ～平成8年度 | ルート承認 |
| 平成8年10月 | 事業化 |
| 平成9年度 | 環境影響評価書手続き完了 |
| 平成10年6月 | 地域高規格道路に指定 |
| 平成10年6月 | 都市計画決定 |
| 平成10年7月 | 地域高規格道路の整備区間に指定 |
| 平成10年12月 | 用地着手 |
| 平成12年度 | 工事着手 |
| 平成18年度 | 寺内ランプ～大伏ランプが部分開通 |
| 令和2年3月 | |
| 令和8年6月 | 全線開通(暫定2車線) |

国道175号西脇北バイパス(延長5.2km)が、6月13日(土)午後4時に全線開通します。

西脇北バイパスは滝野社インターと丹波市の水上インター付近を結ぶ東播丹波連絡道路(延長約30km)の一部です。これまで平成9年の事業着手から約30年にわたり、県・市・地元の皆さんが力を合わせて早期開通を目指し、粘り強く国への要望活動に取り組んできました。令和2年に寺内ランプ、大伏ランプの2・1kmが先行開通し、残り3.1kmの開通に向け、国を中心に関係者が一丸となり整備を進めてきました。

広域交流の要となるこの道路は、交通混雑を緩和するとともに災害時の避難や医療の広域連携を支えるなど、市民の安全・安心を守る重要な役割を担います。さらに、人や物の流れを活発にし、今後のまちの発展に大きく貢献する道路として期待されています。

新たな交通の軸が生まれることで、市の未来はさらに広がっていきます。

地域を結び
新たな交通軸

藤井会長が語る—全線開通への思い

地元の熱意でつながる道路

30年の願いが実を結ぶ

約30年にわたり、市民の皆さま、地元団体、行政関係者などの方々が、開通を願って粘り強く働きかけてくださったおかげで、このたび西脇北バイパスの全線開通を迎えることができます。これまでのご尽力に対し、心より感謝申し上げます。

また、促進大会やオール西脇での要望活動を通じて、地元の思いを継続的に届けてきたことが実を結びました。多くの方々の熱意が国を動かす大きな力となり、実現したと受け止めています。

この道路が、交通の利便性を高めるだけでなく、災害時や救急時には皆さんの命と暮らしを支えてくれるものと期待しています。

今回の開通を新たなスタートとして、大伏ランプから北の区間も、周辺自治体や関係機関と連携しながら、市全体で力を合わせ、早期開通に向け取り組んでまいります。

国道175号西脇北バイパス整備促進協議会
会長 藤井 照通 さん

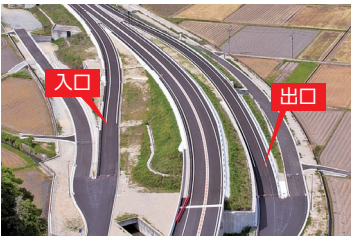


西脇北バイパスの出入口

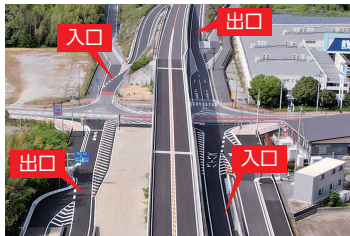
①下戸田ランプ



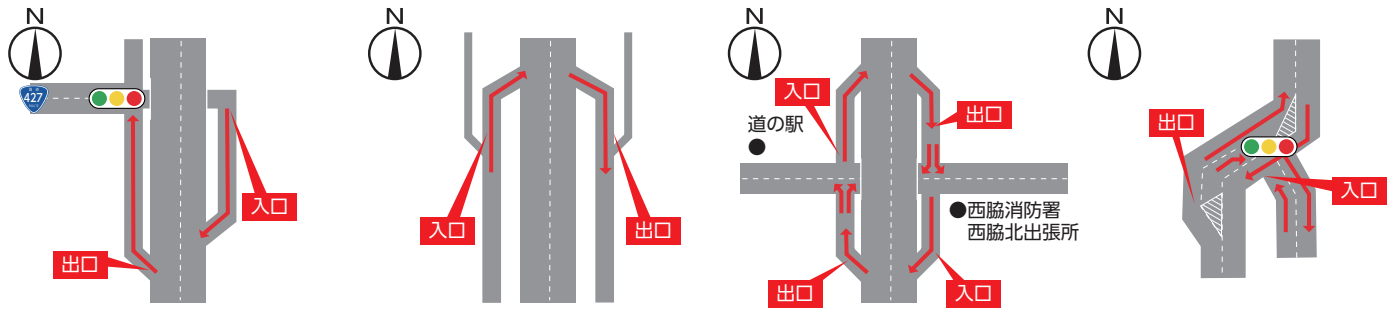
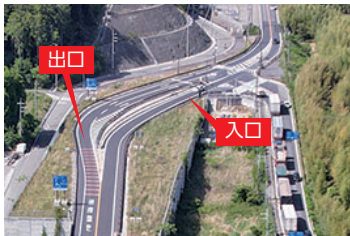
②津万ランプ



③寺内ランプ



④大伏ランプ



切れ目なく、黒田庄町大伏から北の区間へ

東播丹波連絡道路は、西脇北バイパスの全線開通により、大伏ランプから北への約17*が、今後の整備促進に向けて重要な区間となります。この区間がつながることで、地域の発展と私たちの暮らしを守る重要な基幹ネットワークが構築されます。

今年4月には事業化に向けた調査が進められることが決定し、工事着手に向けたステップが一つ進みました。この動きをさらに加速させるため、市は新たな協議会を設立し、関係団体と協力して、オール西脇で早期事業化への取り組みを進めます。



- ①平成18年11月：起工式
- ②平成31年1月：地域住民向けの工事現場見学会
- ③平成31年2月：「(仮称)津万井トンネル」(756m)の貫通式
- ④平成31年4月：西脇東中学校生が工事現場を見学
- ⑤令和2年2月：部分開通記念イベント
- ⑥令和2年3月：寺内ランプ～大伏ランプが開通
- ⑦令和6年12月：西脇高校生が工事現場を見学
- ⑧令和7年11月：津万こども園の園児によるお絵描きイベント
- ⑨令和8年1月：西脇工業高校生が工事現場を見学

西脇北バイパス全線開通までの道のり

国道175号東播丹波連絡道路早期実現促進大会

道路の早期完成を国に求めるため、西脇市と丹波市、両市の整備促進協議会で作る実行委員会が主催し、令和2年度から毎年開催しています。大会では、高校生や地元企業が道路整備の重要性などについて意見発表し、この道路が暮らしや地域の発展に欠かせないことを共有し、決議を採択しています。



オール西脇で要望

市・市議会・商工会議所・地元団体などが協力し、東播丹波連絡道路の早期実現に向けて国に要望活動を行っています。平成28年から毎年、国に必要性を伝えており、継続した働きかけが、西脇北バイパスの開通につながりました。

